

天文ハイキング [VIII]

渋川春海の墓

品川駅を出て間もなく山手線新横須賀線新幹線と京浜東北線東海道線とはさまれて東海寺の墓地がある。ここに渋川家の墓があり、初代天文方春海から最後の12代敬典までが埋葬されている。和算研究家三上義夫先生が古く昭和8年に参詣され、また昭和15年に展墓された神田茂先生が「科学史研究」創刊号に詳しい記事を發表されている。新幹線建設のため改葬されるとのことで昭和36年に神田、広瀬先生のお伴をして訪ねたことがある。今回再び訪ねると春海の墓は立札と明治40年の従四位追贈の記念碑と共にそのまま、それより西側に東向きにあった3代敬尹、6代光洪、7代正清、12代敬典の墓が東側に改葬されていた。従って渋川家の墓石15基は新幹線に背を向けて南向き一列に並び西端が春海、東端が天文博士渋川六蔵とはっきり刻まれている5代則休の墓である。写真でわかるようにすぐそばを新幹線が通っていて永遠の眠りも妨げられそうでお気の毒である。

渋川春海は日本人による最初の暦、<sup>じようききよう</sup>貞亨暦の作者と



渋川家墓所と新幹線

して有名であるが、二世安井算哲と名のり碁の名手でもあり特に第一着手を天元に下した四世本因坊道策との対局は名高い。但し「第一着を太極(天元)に下す。然れどもその理なし。天学に達したる算哲が道策に敗れたるを以ても知るべし」と評された。

墓地へは山手線大崎、または京浜急行線新馬場から徒歩10分位。新馬場からの途中に東海寺がある。同じ墓地内には東海寺開祖沢庵の大きな漬物石のような墓や、入口に鳥居のある国学者賀茂真淵の墓、わが国鉄道の創設者井上勝の墓もある。バス通りから墓地への線路沿いの小路の入口には沢庵、真淵、井上勝の墓の案内があるのですぐわかる。新幹線新横須賀線の車窓からも春海の墓を見ることができる。(佐久間精一)

☆ ☆ ☆  
☆ ☆

◇ 8月の天文暦 ◇

日 時	記	事
4 22	天王星 留	
7 24	立 秋 (太陽黄経 135°)	
8 4	上 弦	
8 20	月 最遠	
10 15	水星 外合	
16 2	望	
22 6	月 最近	
22 23	下 弦	
23 15	処 暑 (太陽黄経 150°)	
29 24	朔	

